

はままつ 市議会だより

第180号

令和元年8月5日

身近な市議会を目指して



もくじ *contents*

◎ 5月定例会のあらまし	P2
◎ 可決した主な議案・意見書	P3
◎ 常任委員会の状況	P4
◎ 代表質問	P5
◎ 政務活動費の決算状況	P7

「お手^{てつき}月 REACH OUT」
©NORITAKE KINASHI
アクリル画 2008年

市議会のくわしい情報、会議の映像は
ホームページで公開しています

浜松市議会

検索

スマートフォンはこちらから →



5月
定例会

道路・橋梁の安全対策など補正予算40億円を可決

議会の人事を決定

5月定例会は、5月20日から6月21日までの33日間にわたって開催し、令和元年度一般会計補正予算や条例など31件、人事案件5件のほか、意見書6件などの審議を行いました。

◎**正副議長を選出し議会人事を決定**

今定例会は、選挙後、最初の議会となることから、**5月20日**の本会議初日では、まず正副議長の選挙を行い、**議長に柳川樹一郎議員、副議長に鳥井徳孝議員**を選出しました。

次に、**5月22日**の本会議では各常任委員会及び議会運営委員会の委員並びに正副委員長を選任するとともに、4つの特別委員会を設置し、委員及び正副委員長を選任しました。

また、**5月28日**の本会議では固定資産評価員などの人事案件3件について同意しました。



議長選挙の投票

◎**議案を上程**

6月7日の本会議では、令和元年度一般会計補正予算など計31件の市長提出議案を上程し、市長からの提案理由の説明の後、所管の各常任委員会に審査の付託をしました。

◎**代表質問に5議員**

6月13日の本会議では、各会派の代表5人が代表質問を行い、市政の諸課題について市の考えをたしました。

◎**市長提出議案及び意見書を可決**

6月21日の本会議では、議案31件について、各常任委員長から審査の経過と結果が報告された後、1議員から一般会計補正予算など14件に対する反対討論があり、採決した結果、いずれも原案のとおり可決・認定しました。また、監査委員、人権擁護委員候補者の人事案件2件について同意しました。

このほか、議会提出議案として、意見書6件を可決し、国に対して、その実現を要望しました。

25日	24日	21日	20日	14日	13日	12日	7日	6日	〔6月〕	31日	30日	28日	27日	22日	21日	20日	17日	14日	10日	7日	〔5月〕
市民文教委員会現地視察	建設消防委員会現地視察	総務委員会現地視察	環境経済委員会現地視察	厚生保健委員会現地視察	定例会閉会	議会運営委員会 本会議(採決・5月)	各常任委員会	本会議(代表質問)	議会運営委員会	本会議(議案上程)	各特別委員会	各常任委員会	本会議	議会運営委員会	本会議	議会運営委員会協議会 開会・正副議長選挙)	本会議(5月定例会)	議会運営委員会協議会	全員協議会	全員協議会	初議会打合会

議会活動の経過

可決した主な議案

令和元年度一般会計補正予算

- ◆原田橋関連整備費や橋りょうの長寿命化を図る点検・修繕費 13億5303万円
- ◆動物園いのちのふれあいゾーンの整備 3億3527万円



動物園いのちのふれあいゾーン完成予想図

- ◆幼児教育・保育の無償化に伴う低所得者等の副食費の減免やシステム改修等に要する経費 1億205万円
 - ◆^{※1}会計年度任用職員制度導入に伴うシステム改修経費 1億348万円
 - ◆消防団の救助活動に必要な資機材の配備 2617万円
 - ◆増加が見込まれる外国人材の受け入れに対応する総合相談体制の整備 559万円
- など総額40億4400万円の増額

老人福祉センターをふれあい交流センターへ転換

- ・ふれあい交流センター条例の制定
- 12カ所の老人福祉センター等を世代を超えた交流の場とするため、高齢者の利用に限定せず、子育て世代も利用できる、ふれあい交流センターに転換します。なお、浴室は廃止します。
- ※厚生保健委員会において附帯決議が付されています。(詳細は次ページのとおり)

(仮称)市民音楽ホールの整備

- ・工事請負契約締結
- 北区都田センター用地に建設する(仮称)市民音楽ホールの新築工事の契約を締結します。



(仮称)市民音楽ホール(イメージ図)

城北図書館に指定管理者制度を導入

- ・市立図書館条例の一部改正
- 令和2年度から城北図書館の管理運営に指定管理者制度を導入します。

可決した意見書

意見書とは、国や県等が実施すべき事項について、議会の意思を意見としてまとめ、内閣総理大臣や関係行政機関などに対して提出するものです。

- ◆サポカー限定免許の創設及びサポカー普及のための助成を求める意見書
- ◆児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書
- ◆労働者協同組合法の早期制定を求める意見書
- ◆外国人材受け入れに関する制度の改善を求める意見書
- ◆精神科受診の患者のための診療報酬制度改善を求める意見書
- ◆訪日外国人旅行者の誘客促進に向けたさらなる取り組みを求める意見書

17日
各常任委員会

1日
行財政改革・大都市
制度調査特別委員会

7月

常任委員会の状況

6月14日に開催した各委員会での審査の概要です

総務委員会

●会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当並びに給与に関する条例の制定について

質疑 非常勤職員が会計年度任用職員に移行すると、勤務条件がどのように変わるのか。

答弁 国会における関係法改正の審議の際に、移行に当たっては、不利益を生じさせることなく、適正な勤務条件が確保されることを求める附帯決議が付されていることもあり、本市としては移行に伴って基本的な勤務条件が大きく変わることはないと考えている。

●多文化共生センター運営事業について

質疑 センターにおける多言語相談の実績は。

答弁 1年当たり4500件から6000件程度の相談があり、30年度はポルトガル語での相談が5割以上を占めた。

厚生保健委員会

●ふれあい交流センター条例の制定について

意見 条例制定に伴い浴室が廃止される、舞阪シニアプラザ陽だまりの利用者から再考を求める陳情書が、また、舞阪地区自治会連合会から同様の要望書が提出されたことを踏まえ、附帯決議を付すことを提案する。

委員会の結論 全会一致で附帯決議を付すことに決定した。

附帯決議の要旨 陳情書及び要望書が提出されたのは、行政側の説明責任が果たされていないためと言わざるを得ない。よって、浴室の存続を求める利用者の声に耳を傾け、利用者拡大や経費削減、運営方法など、今後の浴場設備のあり方や存続の可能性について、地域住民、利用者、運営者、行政による合意形成に向けた対応の機会を設け、早急かつ慎重に検討すること。

環境経済委員会

●観光施設維持修繕事業について

当局説明 旧浜名湖かんざんじ荘は、30年2月から現事業者に貸し付けを開始し、リニューアルオープンに向け改修工事を行っていたが、給排水設備の著しい劣化が判明した。本来は貸し付け公募時に示しておくべきものであったため、建物貸付人の責務として、修繕工事の負担金を支出する。

質疑 土地は県が所有し、貸付期間が限られている中で、市の観光政策にどう位置づけ修繕費を支出するのか。

答弁 浜名湖かんざんじ温泉観光協会から、地域としても修繕が必要だという要望もあり、市としては重要な観光施設と位置づけ、修繕費を支出するものである。今後早急に県と土地貸借延長の協議を行い、長期にわたる運営ができるよう進めていきたい。

建設消防委員会

●スマートインターチェンジ関連整備事業について

質疑 事業費の増額により、事業をどのように進めるのか。

答弁 三方原スマートインターチェンジのアクセス道路となる有玉南初生線バイパスの整備を行っており、補正後の事業費合計は7億8300万円余で、約9300平方メートルの用地買収、16件の物件補償、60メートルの道路改良を施工する予定である。なお、年度末における事業費ベースの進捗率は72.6%になる見込みである。



周辺整備が予定されている三方原スマートインターチェンジ

市民文教委員会

●文化財保護継承事業について

質疑 文化財保存活用地域計画の策定のために実施する調査の対象は。

答弁 都市整備部が先行して策定している歴史的風致維持向上計画における調査では、歴史まちづくりの景観形成に関係する文化財が優先されることになっているため、その調査の対象とならない無形民俗文化財などについて、全市域を対象として調査をするものである。

●オリパラ教育地域拠点推進事業について

質疑 学校や地域の特性を踏まえて実施するオリパラ教育実践業務を市内大学連携協議会に委託するが、実際に協力を受ける大学は。

答弁 常葉大学、浜松学院大学、聖隷クリストファー大学、浜松医科大学である。

代表質問

6月13日には、会派を代表して5人の議員が質問を行いました



自由民主党浜松
波多野 亘

四ツ池公園スポーツ施設再整備に向け協議を

質問 老朽化が進む四ツ池公園スポーツ施設は、29年3月に再整備に向けた現況調査報告書が示されたが、検討が進んでいない。そこで、今後の意見集約とスケジュールはどうか。

答弁 四ツ池公園スポーツ施設は、シンボリックな施設であり市民の愛着が深いことや、改修には相当な整備費が予想されることなどから、市民への影響が非常に大きいため、整備方針については、市議会特別委員会での協議を踏まえ、慎重に検討を進めていく。



四ツ池公園陸上競技場

また、整備方針の策定に際しては、施設利用者や周辺住民を初め、広く市民から意見を聴取するため、基本構想の着手までに2年以上かかることを考えており、この2年の中で再整備に向けた工程表を作成し、市民に示していく。

その他の質問

- ① 今期4年を集大成とした市長の考えは
- ② 水道料金の見直しと運営権委託の考えは
- ③ 浜松城を核にシビックプライドの醸成を



市民クラブ
平間 良明

高齢運転者の事故防止にサポカー普及促進を

質問 高齢運転者の加害事故が社会問題化する中、自動ブレーキなどの運転支援機能を備えたサポカーには事故防止効果が期待できる。そこで、普及促進にどう取り組む考えか。

答弁 本市の30年の高齢運転者の事故件数は1431件、事故全体に対する割合は18.9%で、28年から横ばい状態にある。サポカーの啓発については、各自動車メーカーが独自の機能をテレビCM等で積極的に広報していることから、周知は進んでいると考

えている。また、普及促進については、高齢運転者がマイカーの買いかえを検討するきっかけ、サポカーを選択する際の動機づけや、その方策について、他都市や自動車販売店等から情報収集し、研究していく。

その他の質問

- ① ICT活用で行政サービスの効率化を
- ② 自動運転の実用化に向けた取り組みは
- ③ 街路樹のあり方を見直し適正な管理を



伐採後放置されている街路樹の跡



創造浜松
関イチロー

少子化・人口減少対策のさらなる推進を

質問 さまざまな少子化・人口減少対策を行っているものの、人口増に寄与できていない。そこで、今後の施策をどう考えているか。

答弁 出生率の上昇を目指し、不妊治療費支援や保育施設の定員拡充などに取り組んだ結果、一定の成果はあらわれているが、上昇には結びついていない。出生率の改善には、国を挙げた取り組みが必要なことから、今後とも国と連携して取り組んでいく。元年度は、27年に策定した総合戦略の最終

年度であり、この検証を進めるとともに、2年度からの第2期総合戦略を策定していく。今後も出生率の上昇に向け、各界の有識者で構成する総合戦略推進会議での意見を踏まえ、総力を挙げて取り組んでいく。

その他の質問

- ① 避難行動要支援者名簿の取り扱い指針を
- ② 通学路における児童・生徒の安全対策は
- ③ 救急安心センター事業を導入する考えは



適切な利用が求められる救急車



公明党
松下 正行

(仮称)おくやみガイド
の作成を

質問 親族の死亡後にはさまざまな手続が必要となるが、その全てを正確に把握することは困難な状況である。そこで、市だけでなく国や県、民間も含めて必要な手続を網羅したガイドを作成するなどのわかりやすい情報提供をする考えはないか。

答弁 死亡届を受理する際、遺族に向けて国民健康保険や年金、住民票の世帯主変更など、死亡後に必要と思われる手続を案内しているが、その内容は市役所で行う手続を網羅していないことから、情報

の充実が必要であると考えている。

今後は、民間を含めて必要な手続や案内の調査・確認を行い、死亡後の手続を網羅したガイドを作成するなど、案内の充実にも努めるとともに、手続の簡便化を進めていく。

その他の質問

- ① 災害備蓄品に乳児用液体ミルクの導入を
- ② 夜間^{※3}中学^{※3}の設置について前向きな検討を
- ③ 通学路等の具体的な交通安全対策は



神戸市が配付している「おくやみ手続き ご案内」



日本共産党浜松市議員
小黒 啓子

パートナーシップ宣誓
制度の導入を

質問 LGBTのカップルを公的に認める「パートナーシップ宣誓制度」の導入が全国で進んでいるが、共生社会を実現するため本市において同制度を導入する考えはないか。

答弁 多様な人々が支え合う共生社会の実現には、性的マイノリティーの多様な性のあり方への理解が不可欠である。パートナーシップ宣誓制度は、全国的に導入または導入を検討する自治体が増えており、同性婚だけでなく、多様な性自認や性的指向を持つ者同士の

異性婚も対象とするなど、性の多様性に対する理解や関心が広がっていると考えられている。こうしたことを踏まえ、本市においても7月に市民との意見交換会を開催するなど、制度の導入に向けて準備を進めていく。

その他の質問

- ① 3区案の住民投票結果に対する見解は
- ② 園児の散歩コースや通学路の安全対策を
- ③ スズキ(株)からの補助金申請への対応は



千葉市のパートナーシップ宣誓証明書と証明カード

用語解説

※1 会計年度任用職員 (3ページ)

地方公務員法及び地方自治法の一部改正により全国的に統一された制度に基づき、一会計年度を超えない範囲で任用される職員。各自治体は、令和2年4月1日の施行に向け、条例や規則の改正手続を進めている。

※2 救急安心センター事業 (5ページ)

地域の限られた救急車を有効に活用するため、消防庁が全国展開を推進している、共通の短縮ダイヤル(#7119) による電話相談窓口。消防と医療が連携して救急相談と医療機関案内を行う。住民は傷病の緊急性や救急車要請の要否などのアドバイスを受けることができる。

※3 夜間中学 (6ページ)

公立中学校の夜間学級のこと。戦後の混乱期に義務教育を修了できなかった人たちのために設置されたが、現在は年齢も国籍も異なる、多様な背景を持つ人たちが学ぶことができる場となっており、不登校などの理由で学齢期に学ぶことができなかった人たちの学び直しの場としての役割も期待されている。

平成30年度 政務活動費の決算状況

(単位:円)

会派名 支出項目	自由民主党 浜 松	創造浜松	市民クラブ	公 明 党	日本共産党 浜松市議団	浜松市政 向上委員会	市民サポート 浜 松	N e x t 浜 松
	19人※1 ※2	7人 ※3	6人	5人	5人	1人	1人	1人 ※1
交 付 額	35,550,000	13,350,000	10,800,000	9,000,000	9,000,000	1,800,000	1,800,000	300,000
預 金 利 息	122	56	37	23	18	9	9	0
返 還 金※4	12,684	71,925	0	0	0	0	0	0
収 入 計	35,562,806	13,421,981	10,800,037	9,000,023	9,000,018	1,800,009	1,800,009	300,000
調査研究費	4,626,243	1,729,511	839,317	532,993	1,442,253	85,763	0	0
研 修 費	689,042	6,142	534,331	242,037	382,579	269,824	96,830	0
広 報 費	5,961,082	2,870,093	4,682,319	50,354	2,733,635	0	1,423,322	0
広 聴 費	3,619,968	24,568	321,158	226,119	57,128	17,071	0	0
要請・陳情活動費	551,268	2,960	4,699	33,807	72,985	0	0	0
会 議 費	566,936	31,736	100,428	43,437	59,425	0	0	0
資料作成費	218,098	345,752	0	822,694	1,549,736	0	0	0
資料購入費	596,407	165,756	329,532	305,812	138,621	27,390	91,540	2,980
人 件 費	8,582,014	3,011,342	3,608,396	4,911,405	1,924,800	171,016	0	0
事 務 所 費	3,531,184	323,069	199,433	464,531	551,761	281,586	167,565	23,328
支 出 計	28,942,242	8,510,929	10,619,613	7,633,189	8,912,923	852,650	1,779,257	26,308
返 納 額 <small>(預金利息・返還金含む)</small>	6,620,564	4,911,052	180,424	1,366,834	87,095	947,359	20,752	273,692

政務活動費は、月額 15 万円に各月 1 日における会派の所属議員数を乗じて得た額を支給しています。

※ 1 30 年 5 月 8 日、N e x t 浜松が解散しました。また同日、自由民主党浜松所属議員が 19 人から 20 人になりました。

※ 2 31 年 2 月 21 日、自由民主党浜松所属議員 1 人が辞職し、所属議員が 20 人から 19 人になりました。

※ 3 30 年 8 月 17 日、創造浜松所属議員 1 人が辞職し、所属議員が 8 人から 7 人になりました。

※ 4 政務活動費で購入した備品を耐用年数（減価償却）が終了する前に処分する場合、残存価値を現金換算し、市へ返還します。（一旦会派で預かる形となるため、収入欄に記載しています。）

資産等に係る報告書を 公開しています

31 年 4 月に市議会議員から提出された資産等補充報告書、所得等報告書、関連会社等報告書を、本庁市政情報室や各区役所の市政情報コーナーで公開しています。なお、27 年から 30 年に市議会議員から提出された報告書は、議会事務局で閲覧できます。

また、4 月 7 日の選挙で当選した市議会議員の任期開始日（5 月 1 日）現在の資産等報告書は 10 月 8 日から公開します。

詳細は、議会総務課までお問い合わせください。

(☎053-457-2505)

政務活動費収支報告書等 の写しを閲覧できます

30 年度、31 年度 4 月分の政務活動費収支報告書及び証拠書類の写しを、非公開情報を除き、議会事務局で閲覧できます。

なお、28 年度・29 年度の書類の写しも同様に議会事務局で閲覧できますが、26 年度・27 年度の書類の写しについては、公開に当たり情報公開請求が必要です。

詳細は、議会総務課までお問い合わせください。

(☎053-457-2505)

発行／浜松市議会〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2
編集／浜松市議会事務局
印刷／株式会社アプライズ

浜松市議会では、インターネットによる本会議・委員会のライブ中継と録画配信を行っています。このほか、市議会ホームページでは会議録（本会議・委員会）なども掲載しています。ぜひご覧ください。
<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/gikai/>



1994年、バラエティ番組で架空の画家「木梨憲太郎」に扮し、フランス・パリで風景画を描いたことをきっかけに、本格的に絵画制作を始めた木梨憲武氏。大胆な色遣いや構図で構成される作品、緻密で繊細に描かれた作品等、1つの表現方法に縛られないさまざまな引き出しが特徴である。テレビ番組で見せる木梨氏のユーモアあふれる明るさを象徴するかのようなポジティブなモチーフの作品が多く、20年以上の長きにわたり描き続けてきた「REACH OUT」シリーズもその1つ。手をモチーフに人間同士の目には見えないつながりや助け合いの心を表現している。多くの人々の手がつながり、大きな円形や球体をなすことは、日本だけに留まることなく世界中のさまざまな人々とながっていききたいという木梨氏の願いを形にしたものといえる。本作は月に見立てた白い円から無数の手が伸び、つながっていく。その様を「お手月（おてつき）」と表現したところに、木梨氏の遊び心がかいま見える。

紙上美術館
No.166

浜松市美術館
「木梨憲武展 Timing—瞬間の光り—」
9月8日（日）まで開催
開館時間：午前9時30分～午後5時
（入館は午後4時30分まで）

紙面に関するお問い合わせ
浜松市議会事務局 調査法制課
☎053-457-2513



今後の議会活動の予定

- 〔8月〕
- 27日 各常任委員会
- 〔9月〕
- 2日 議会運営委員会
- 9日 本会議（9月定例会開会）
- 10日 各常任委員会
- 17日 議会運営委員会
- 18日 本会議（採決・決算上程）
- 27日 決算審査特別委員会
- 30日 本会議（代表質問）
- 〔10月〕
- 1日 本会議（一般質問）
- 2日 本会議（一般質問）
- 3日 決算第一分科会
- 4日 決算第二分科会
- 7日 決算第一分科会
- 8日 決算第二分科会
- 16日 決算審査特別委員会
- 23日 議会運営委員会
- 25日 本会議（採決・9月定例会閉会）